

明日は明るい日だ

ゲン・フン・フオック

夢と希望を持って、外国から日本に多くの実習生や留学生が来ています。でも、その中で、労働現場での事故や病気で亡くなった人がたくさんいます。また辛くても、借金のため帰国することもできず、みずから若い命を絶ってしまった人さえいます。私にとってとてもひとごとではありません。私もお金の問題で大変苦労して、やっとあこがれの日本に留学できたからです。家族と離れて一人で暮らす寂しさもわかります。ですから、この悲しいニュースを聞いたとき、私は日本に来ることを決意した原点を思い起こしました。それはベトナムで日本語の勉強を始めたとき、先生に漢字の面白さを教えてもらったことです。

みなさん。「辛い」という漢字を知っていますか。この「辛い」という字に一本足すと「幸せ」という漢字になります。辛い時はまだ何か足りないので、幸せになれないということです。それを聞いて、私は自分の辛さは何かが足りない、努力が足りないからだと感じさせられました。苦しい、災い、困ったことが起きたら苦難、災難、困難と言います。何事も起きない人生を無難だと言います。しかし、無難な人生などはないでしょう。つまり、苦難、災難、困難があってこそ生きていることの有難さがわかります。

日本語の50音の始まりは「あ・い」ですね。先生は、「日本語の始まりはなぜ愛なの」と私たちに問いました。それは日本語だけでなく、人の始まり、つまりこの世に生まれてくる瞬間、私たちは両親の愛に包まれて生まれてくるからだそうです。命をかけて私たちを生んでくれたお母さんの愛をわすれてはいけないよ、というのが先生の口癖でした。

また、吐くという文字は、口にプラスとマイナスを加えます。ここからマイナスの一本を取ると吐くという文字になります。ですから、何か叶えたいことがあったら、マイナスになる事を避けて、プラスの面だけ口にします。そして努力すれば、きっと夢は叶うはずですよ。

こういうことを教えてもらって、それまでまるで絵のようにしか見えなかった漢字が大きな意味を持つことに驚き、感動しました。もっと漢字を知ろう、日本語を勉強しようという意欲がどんどん湧いてきました。日本に留学したい思いがつのりました。しかし、一緒に日本語学習センターで学んだ同級生がみな日本に留学していく中で、私だけ家庭の事情からそのとき日本に留学することが出来ませんでした。そのとき、とても辛かったですが、諦めず、ついに夢を叶えることができました。漢字の意味を知り、日本語を学んだことは、私の人生まで変えてくれたと感じました。今はIT技術者になる夢を叶えるために頑張っています。

ですから、同じ留学生・実習生の皆さん。辛いことはたくさんあると思います。でも決して負けないでください。私がいつも自分に言い聞かせている言葉を贈りたいと思います。「君なら大丈夫、君ならきっとできる、明日を信じて頑張ろう」。明日は明るい日と書くではありませんか。